

HAND in HAND

はんど・いん・はんど

〔別居中の生活費や養育費はどうなるの〕

■別居生活が5年以上あれば離婚できるように法律が改正されることになりそうです。欧米諸国では既にもっと短い2年とか3年で離婚できる国もあり、これを積極的破綻主義と呼んでいます。我が国ではご存知のように、長い間、有責主義、つまり、離婚に至る主原因を作った責任のある側からの離婚請求は認められませんでした。

■最高裁がこの有責主義に終止符を打ち、破綻主義を採用したのは1987年のことで、以後、下級審では8年の別居でも離婚を認めるようになっていました。今回の法改正の提案は、5年以上の別居と期限を定めたわけですが、確かに、崩壊した家庭や形骸化した婚姻を放置しておくより、そこからの解放と新しい再出発の道を開くことは大事なことです。

■しかし、Eさん（54歳）の次の言葉をどう聞きますか。「10年前に出て行ったあの人と復縁できるなんて思っていないし、そんな気もない。でも離婚したら、あちらは籍が入り子どもは嫡出子になれてバンザイでしょうが、仕事もなく苦勞して、子どもが高校にも行けなかった私たちには何のメリットがあるというんですか」

■子どもを産んでも女性が安心して働き続け、育児を夫婦でやる社会だったら、女性も経済的苦勞はしないといい。でも今は積極的破綻主義や協議離婚が理想と言えるような、男女が対等な社会ではありません。としたら、女性たちが離婚を不当だと思わないような経済的保障が必要です。別居中の生活費や離婚後の養育費・財産分与等がすみやかに決められ、確実に履行される制度を要望します。それにしても、これからは結婚しても決して仕事をやめず、しっかり自分の収入と自分名義の財産を持ち、費や生きる必要がありますね。

（円より子）

逐次刊行物

6年.9.6- 成

現代婦人教育会館

婦人教育情報センター

海を渡る鳥は、波間を漂う流木に憩うという。離婚—それは旅の半ばの一つの出来事。新たな旅立ちをした女たちはいま手を取りあい、女であるがゆえの偏見と差別に向きあう。ハンド・イン・ハンドは生きやすい社会をめざし、支えあう女たちの流木である。

第158号 600円 禁無断転載

【発行日】1994年9月1日

【発行所】現代家族問題研究所分室
〒164 東京都中野区東中野
4-9-18-5A 星野方

【発行・編集人】円 より子

【スタッフ】向井通江

【印刷】(株)日出島

158

94.4.30 ニコニコ離婚講座

離婚・再婚と
子どもの心理

山岸道子 (社会福祉士)

こんにちは、山岸です。私は10年間、学校で児童福祉論等の科目を担当し、離婚と子どもの問題や母子家庭、父子家庭の問題等をお話してきましたが、自分の体験をお話するのは初めてに近く、とても戸惑っています。

私は20年間の結婚生活を経て離婚し、再婚をして10年になります。現在平塚に、書道教室をやっている主人と、離婚の時に連れて出た今は高校2年、16歳の娘と、らん丸という犬の4人で暮らしています。

昨日は偶然13歳の時に置いてきた息子が、私がコーヒーが好きなので、おいしくいれられる機械を持って遊びに来てくれて、嬉しい一時を過ごして今日ここに参りました。私は今平穏で幸せな日々を送

っていますが、ここに至るまでに本当に激動というか、波風のある日々を苦しましたので、皆様の参考になればと思います。

■最初の結婚について

私の最初の結婚は21歳、まだ大学生で、上級生だった前の主人と、彼が社会人になるのを待って結婚しました。学生結婚ですから、よくわかり合えていたはず、同じ目的を持っていたはずなんですが、数か月も経たないうちにとても辛い、苦しい、悲しい、悔しい、嫌だっという生活になってしまいました。その原因を一言言うとしたら、主人のお酒にまつわる問題だったんです。

若い私ですが、自分で選んだ人ですし、親に対しても何としても幸せにならなくちゃという気持ちがありましたので、もう努力、努力という気持ちでした。主人の方もそうだったと思うんですが、長男、長女と相次いで亡くしまして、それがさらに二人の関係を悪い方向に持っていました。

結婚して7、8年経った頃に、「離婚」という文字が時々思い浮かぶようになったんですが、この時は主人と別れたと思うっての離婚

ではなく、むしろ、仲よく暮すために主人の行動を変えてもらって幸せな生活をした。そのための切り札としての離婚という言葉だったんです。その時はずみで離婚をしてしまったら後で後悔したかも知れないですね。

それから、子どもができた、保育園をやり始めたりして、これを乗り切ればいいんじゃないかと努力をしていたんですが、ある時、このままだったら精神的にも肉体的にも死と直面してしまうのではないかと思い始めました。もう本当に心の底から別れたい、鳥肌が立ってくるくらい嫌だという気持ちになり、死ということが思い浮かんでてしまったんです。

その時私は死ぬよりは離婚の方がいいでしょうって、子どもに言えそうな感じがしましたし、死ぬくらいなら何でもできる、と思うようになったんです。こうストンと落ちたような、迷いのなかった始まりでした。

■家庭の機能と離婚

パースンズという方が家族の機能の定義を2つに分けています。1つは、成人のパースナリティーの安定化。2つ目は子どもの基本

的社会化。安らいで、次の日の活力になるエネルギーを充電して職場へそれぞれが向かうというのが家庭の大人にとっての家族の役割。もう一つ、子どもを育てる、子どもの基本的社会化という役割が大きい。一般的に私たちは1番の部分が破壊しても2番のためにはやっぱり頑張るといことがあると思います。私が死を思った時に、子どもを育てる場所としての環境を維持できなくなったと思いました。まして両親の争いのなかで飛び交う醜い言葉を子どもに聞かせてしまったら、両親に対する子どもの敬意みたいなものを全部壊してしまうんじゃないかという気持ちになりました。離婚の方が子どもたちにとっても、いい環境を復元する道なんじゃないかと思

ったんです。

■何もかも捨てて家を出よう

前の主人と共同経営の保育所でしたから、離婚を考え始めた頃から、私は他へ仕事をもちながら上手にやろうと思っていたんです。チャンスはあったんですが、とても許してもらえない状態ではありませんでした。それでこれはある日突然に、何もかも捨てて家を出る

ということしかできない。それが一番穏便に行くと思いました。それで4歳の娘と、身の回りのものだけを持って家を出ようと決心したのです。

なぜ全部を捨てて出ようと思ったかという、私が本格的に生きるための仕事を探すためには、早く離婚をするという道を選ぶことが大切だったんです。その時私は40代の初めて、健康ですから、何とか娘一人養って幸せにすることはできるだろうと思いました。財産分与や慰謝料、養育費など何もかも捨てなければ早い離婚はもう望めない。

前の主人にしてみれば離婚の意志はなかったんですね。勝手に出ていく女房に一切やる必要はない。法律があっても関係ない。そしてギョウギウ攻めにすれば元に戻るんじゃないかということ。それから離婚に対する不安ですね。そういうものが全部うごめくわけですから、条件がつけばつくほど離婚までの時間が長くなるだろうと。4歳の娘だけだと、これだけに絞って離婚をすることにしました。

■家を出た日

58年の2月28日月曜の朝です。

1か月位前から、上の息子とは話し合って了解してもらっていたので、いつものように朝御飯を食べ、「行つてらっしゃい。今日行くからね」って言う、「うんわかった」って、後ろを振り返らずに走って学校へ行きました。そして娘を保育園に送って行きます。2つ保育園があり、もう一つの保育園に主人が出勤すると、前から用意しておいた荷物を自動車に乗せて、娘を保育園に迎えに行きました。保母さん達に「お母さんとおでかけでいいわね」と送られて車のエンジンをかけました。アクセルを踏んだ時には天を仰いで、この決断が間違ひではありませんようにと祈りました。

当時保育園の園長をしていて社会的に離婚とは馴染みにくい仕事でした。民生委員も2期やっていました。また家を出る半年前に、厚生省が芝生保育を始め、全国で2ヶ所のモデル指定園のうちの1つとして私の園が指定されたんです。決断がしにくい最中にありました。一切を捨てて行方不明になるつもりでいましたから、バックアップして下さる方たちに、本当に申し訳なく苦しい思いでした。でも死

というのがかなり自分の身近にあり、やはりこれが全体的に考えてもいいことかもしれないって決断したのです。2月28日という日は、私にとってそういう意味で忘れられない日なんです。

■息子を置いて出てきたこと

なぜ長男まで置いてきたのかと思われるかもしれませんが。私もそれを一番悩み、長男とは1か月位前からいろいろな話をしました。「どうする？」って聞くと、長男は中学2年生で「僕は友達と別れたくない。学校も変わりたくない。お父さんも一人ではちょっとかわいそう。さっちゃんさえ連れて行ってくれれば僕一人なら大丈夫だ」と繰り返して言ったんです。

私は元来、小学生は何回学校が変わっても十分なフォロワーがあれば大丈夫と思うんですが、中学生というのは非常に難しいと思っています。子どもが望まない転校はよほど適切なフォロワーがないと駄目だと思っていたので、息子の言葉の通りにしようと思ったわけです。その他、長男を連れて行くのは離婚が長引くのではないかということもありましたし、次の日からは居住地も、職業も、蓄えもない

非常に不安定な生活。そこを体験前の子どもを引き回すというのは。そういうことを全部考えて、今連れて出るよりも早く一緒に暮す態勢を作った方がいいんじゃないかと思い、決断をしました。

別れる前日に、息子に祈るような気持ちで「健くんを一番大事に思っている気持ちは本当なのよ」ということを十分に何回も言いました。そして、「自分の人生を大事にしてほしい。お母さんがこうだったから、お父さんがこうだったから」ということで、人生に対してどうでもいいという気持ちを持たないで、自分の人生は自分のものなんだから」と言う、「うん、わかった」と言ってくれたんです。

■離婚の子どもへの影響

離婚と子どもの問題は、子どもの年齢によっても大きく問題が違ふと思います。赤ちゃんから小学校低学年までの子ども達にとって離婚は、離婚前のあまり好ましくない家庭の状態と比較すれば、片親でも親権者が健全で幸せであれば、大きな心の衝撃もないし、妹と育ちのマイナスイメージもない。母親というモデリングが両方揃っていないという問題も、親権者が

母親であれば父性みたいなものと一緒に取り入れていく。父親であれば、母性みたいなものを一緒に自分の中で表現できる。こういう配慮があればいいかなと思います。

小学校高学年から中学生という時期は、非常にいい状態の家庭の中にあっても、学校生活の中にあっても、ふとした心のつまづきによっていろいろに変わってしまう年頃ですから、離婚はやはり大きなマイナスというか、不安定なものに引きずり込んでしまうという要素はあると思います。そういう意味では一番避けてあげたい年齢だと思ふんですね。やはり何より大事なお友達、目、学校の目、社会の目に対してまだひ弱ですから、大きな不安を持っているだろうと思ふんです。身の置き所のないような立場に置かれたような感情を味わって落ち着いた勉強をできなくしてしまいますし、成績不振になって次の問題を起こしてしまう場合があると、一般的には思ふんですが。それでも離婚の道を歩む時そんなことが分かった上でいろいろフォローしていくということができるんじゃないかと思ふていますし、悪い状態のまま離婚しな

い家庭であればいいかという、またもう一段階考えなきゃいけないことがあるのかもしれない。

高校、大学という年齢になると、親の生活と自分の生活を別けて考えることができますね。この実態だったら両親のためにも別れた方がいいのかもしれないと、そういう立場に立つてものが見えるので、ある割り切りはできる。ただ就職、結婚という人生の一大事が身近になってきますから、それへの不安感はあるかもしれませんが、自分の運命みたいなものを抱えて頑張っているというふうなプラス思考になる、一連の育ちという部分が一応済んでしまつて、両親が直接的にいないくても、自分の日々の生活についてはそれほど不安感がないということもあると思います。全年齢の子ども達に共通して離婚に際して言えることは、子どもは子どもなりの力を持って、状況を判断しながら自分の心を見つめながら、その場その場を切り抜けて行く日々の連続であるわけです。その場合に判断の材料が正確であると、子どもは見通しをつけて努力をしても全部結果が違つてしまいます。例えば別れた時に「お

父さんはお仕事で遠くに行つてのよ。また帰ってくるからね」という言い方をしますと、子どもは寂しいけど待つてるという姿勢で耐えていくとしますが、いつまで待つてもお父さんは帰つてこない。そうすると、努力しているのに結果が報われないということになってしまふ。ですから、初めにありのままを話しておけば子どもは寂しいという気持ち、驚いた気持ちをしばらくは持ち続けますが、1週間、2週間とお母さんがフォローしているうちに、その事実を受け入れて、それに対して耐えるという姿勢に変わると思ふんです。かえつて子ども達にかわいそうな思いをさせないことになるんじゃないかと思ひます。

それから状況に応じて生活を変えていくということも大切で、例えばお母さんの姓が変わると一緒に生活をする子ども達の姓が変わるというのが、ごく自然でトラブルがないのではないかと。私の娘の場合は小学校の低学年の間に2回変わったんですが、「変わって困った？」と聞くと「ううん、けんかしたときに名前を別に呼ばれるから私はしらんぷりしてるから平気」

なんて、それほどでもなかったんだなと安心したこともありました。また呼び名も、名は体を表わしますのでも、お父さんならお父さん、お母さんならお母さんというふうに早めに切り替えてしまふというの、非常に馴染みやすい姿勢を作ること思ひます。

離婚に対して子どものことを考える時に、一つは続けようとしていく子どもの生活、躰をしていく最低ギリギリの生活を守っていくかどうかという判断だと思ひます。努力すれば出来るという見通しがつけば継続していった方がいいのかもしれませんが、できない時は離婚という決断をして、その時にはありのままの状態を正直に心を込めてきちんと話をしてわかつてもらう。その時点では少し混乱があつても、それは時間が解決してくれろと信じて、やはり丁寧なフォローをしていく。そして生活の変化と共に実態も変えていくということが、私の体験からはスムーズに行く道なんじゃないかというふうに思ひます。

■今の主人との出会い

58年の2月に家を出て、別居後

7か月経って離婚が成立しました。私の計画は前の主人の性格から考えて、一番穏便に行くのは家出して3か月は行方を妹以外には知らせないということでした。3か月経つと少しは前の主人の気持ちが悪くなり話ができる状態になるんじゃないかと思ひます。怒り狂った主人がまず行く所は私の母の所です。母にうそをつかせるのはかわいそうだと思ったので、母には言わなかったんです。家を出た翌月母が癌だということが分り手術もして、気の毒でした。

月後に私は知りませんでした。主人は別居したんですね。それから9月に私は協議離婚をして、母の所に次の日引っ越ししました。そして59年2月に主人は調停離婚をしていました。6月に母が亡くなりました。そして59年8月にもう一度電車の中で主人と偶然乗り合わせることになったんです。その時はホームで電話番号を書き合ひ別れましたが、それから4か月後に再婚することになったんです。偶然の2度の出会いで再婚ですから、不思議な縁というふうに思いますが、2人とも離婚をしていたということが非常に不思議な感じがするんですね。母が亡くなって幾らか遺産があり、そう切羽詰まらずに別れ就職先として結婚を選んだのではなかったと思ひますし、やっぱり本当に選んだんだなあと思ひているんですが。

■再婚と引越

こうして、離婚から1年2か月後に再婚することになりました。その時の私たちの家族の状況というのは、主人の方が長男が21歳でもう既にピアノの調律師をしていました。2番目の男の子は19歳で大学の体育学部で、寮に入っていました。

また、すかつとした割り切った性格の子でした。実母に対する思いはとても深く、「再婚はお父さんの自由だよ。だけど僕のお母さんはあっちのお母さんだ。僕とは関わりのない人だと割り切らしてもらいたい」という態度できつと線を引いていました。現在はお嫁さんの母親同様私も母親のようですが、3番目の息子は中学生でした。母親に引き取られていて、月5万の養育費を20歳まで出すこと、高校、大学進学費用も負担すると調停調書に書いてありました。

また、前の奥さんが「食器戸棚のあの段の下にこういうお皿があるから今度来る時持ってきて」と長男に電話を掛けてきたんです。お皿は場所が違っちゃって全然別の所にあることを、長男は複雑な気持ちで母親に伝えたと思ひます。ここにずっといることは、時が経てばいつか消えて行くことかもしれないが、時間がかかるんだろなというふうに思ひました。

これだけ家族構成が複雑な中でやっていくのは難しいけれど、一つ一つ考えて乗り切ってきました。結婚の届けを出すと同時に、娘と主人の養子縁組をしました。それですっかりお父さんと娘という関係になったんです。

そう思った時に、家から主人の会社まで通勤に往復3時間掛かります。朝6時前に出かけて行き、夜は10時近く。何のために結婚したのかなと思ひてきて。私は主人の通勤時間を短くし2人の時間を長くすることが、例えば子ども達と

りてきて、駅前のラーメン屋さんでビールを飲み、他愛ない話をし

て30分で別れたんです。その1か

別に気にならずにそこで食事を作

の問題を丁寧に解決できることではないかと思いました。それからやはり地域の方々も何となく我が家の状態を全部知っているわけです。そういうこともやがては子どもにもどうかと思ひまして、幸い上の子は社会人、2番目は大学の寮、3番目は母親のところからです。何もなくていいからゼロから始めたいという思いで新しく家を建てることになったんです。

次に、もっと時間が必要だなと思ひまして、主人の健康の問題とかいろいろあり、せっかく引越したんですが、2年後に主人が会社を辞め、今の書道教室を2人でやっていくことになりました。

■再婚と子どもの問題

主人の長男とは建て替えの時に別居していたんですが、そのまま別に暮らすことになりました。

長女の面接交渉の問題は、私の再婚の時に前の主人に、面接交渉はやめてほしいと電話で頼んだんですが、これは無理だと。毎月の面会はすると。前の主人も2年後位に再婚をしました。1度、新しい奥さんと娘と主人とで面接交渉があったんですが、次の月からは

もう打ち止めになりました。

主人の3男の養育費の問題もその後2度、3度家裁を通して整理をしなくてはならない場面もありました。31歳の長男は結婚はしていませんが、時々ふらっと遊びに来ます。主人も「この頃は庄一に対しては道子の方が信頼があるんだから」と言い、これはとても嬉しいことだと思ひます。次男は教師ですが、結婚して別に住んでいます。3男には1回しか会っていません。ちょっと高校でつまづいて荒れましたので、私たち夫婦にとっては1番気がかりです。

私の方の長男ももう25歳になり、ちょっとこの子は私の予想と違うコースを歩かざるを得なくて、18歳の時にもう独立をすることになってしまったんです。でも自分の力で大学に行ったりして頑張っています。長女は非常に安定した生活の中でしたので、勉強にも非常に身が入り、一番いい県立高校に入って今とてもルンルンです。

■再婚が成功した理由

振り返って見てうまくいったとすれば、何がよかったのかと考えますと、私の子ども達2人に対して主人が私の期待以上によくして

くれたということが一番大きかったと思うんですね。例えば娘の面接交渉なんです。この時の主人の娘に対する対応が、思いやりのある形でそれをさせてくれたというところ。主人は娘の態度で僕はだいたい教えられたって言うてくれます。本当に幼い子どもでもよくわかっていて決して口にしなない。淡々と行って淡々と帰ってきて、その2人のタイミングは非常にあっていたと思ひます。私の息子の学費についても、父親がいろいろな事情で一切出さないことになっていたんですね。息子が自分で働いて大学に行くという環境だったんですが、気持ちよく学費を主人が出してくれました。その時にやはり嬉しく、主人の息子達にもっとよくしてあげなくちゃいけないという気持ちになりました。

結婚生活がいい形で継続する要因が3つに整理されています。肉体的成熟、経済的成熟、社会的成熟。私たち2人はこれが前の生活の中では欠けていたんだろうなと思ひます。そしてそれが離婚という大きな代償ではあったけれど、それを乗り越える時に、一歩成熟した形で身に付いたと思うんです。

また私は転居の時に主人がよく大きな決断をしてくれたと思ひました。これは私の立場からすると当然なんです。ずっとそこに住んでいる男性の気持ちとしては、ちゃんとした家なんだからいいじゃないかと思ひて当然だろうと思ひますが、そこを理解してくれた。いろんな意味で大変な決断だったと思うけれど、それがいい形で進んで来た大きな鍵じゃないかと思ひます。

最後に5年前ですが息子が20歳になって最初の母の日に、カーネーションの花束を毛急便で送ってくれたんです。カーネーションの花束で「僕もういいんだよ」を本当に私に示してくれたと思ひました。もうこれは幸せにならなくっちゃって、おそらく私の人生の中でそのカーネーションの花束が1番嬉しいことだったというふうにしみじみ今でも思っています。

★山岸道子氏の紹介

社会福祉士。鶴見大学女子短大部非常勤講師、YMCA健康福祉専門学校非常勤講師。自宅で「女性のための小さな相談室」を開設。

☎0463(54)3089

家計簿公開



第96回 東京都 Tさん

【家族構成】

私 32歳（会社員）

長女 8歳（小学3年生）

長男 6歳（小学1年生）

【住居】 アパート（3DK）

★

約1年間の別居生活を経て、今年の6月に調停離婚しました。10年間の結婚生活でした。原因は価値観の違い、ただ一言です。生まれも育ちも違う二人が一緒になれば必ず生じるトラブルを考え方があまりにも違っていて二人で乗り越えることができなかったんです。後で彼に女性がいるのがわかり、それも原因の1部になっています。離婚は彼の方から言い出したことで、初めは納得できず、考え方が違うなりにも一生懸命やってきたと思っていた自分を全面否定されたようで悲観的にもなりました。でも、冷静に考えたら肝心な時に信用できそうにない彼とこの先うまくやっていく自信もなく、離婚に関しては仕方がないかなという

感じでした。

そこで、「子どもに対する責任はきちんととってほしい。私も仕事を辞めたばかりで、以前より家賃の高いアパートへ移ったばかり。引越で貯金もかなり使ってしまった、ある程度見通しが立つまでは生活費を出してほしい。そして調停を通してほしい」と彼に言いました。彼も「金銭的なことしかできないので、子どもに今までと変わらない生活をさせてやってほしい。ただ、今までと同じ額を払うのは1年が限度」と。月に1度は会うということを決め、彼はアパートを借り別居を始めました。その間私は、内職や短期のバイトをしながら、じつくり子どもと付き合うことができました。お陰で不安定になっていた子どもも、のびのびと生きてきました。

約束の1年が過ぎ、下の子が1年生になると同時に2人とも学童保育に入りました。私は9時から5時までのパートを見つけ、その収入が約10万として（実際には8万前後）、調停が成立するまで今までの生活費から10万引いた額を彼に負担してもらうことになりました。我が家では生活費を月15万円と

決めてプラス家賃をもらい、残り

とボーナスは彼へという形を取ってきました。別居、離婚の際にはそれを基準に話を進め、どちらかが困りすぎないように弁護士にも相談しましたが、彼に女性がいることが分かったり、彼の両親が口を出すのでやはりもめました。彼は子どもにも2度会ったきりです。

調停で決まった養育費は2人で10万円。しばらくの間10万円位しか稼げないと思いますが、児童扶養手当、児童育成手当が5、6万。養育費を足すと25万円位になります。今までは食べさせてもらう立場でしたが、対等な関係になりたいと思いますし、彼が家庭を持ったりして養育費の支払いがきつくなった時に慌てないように働かな

くてはと思います。

幸い知人の紹介で、契約社員で入社することができました。まだ2か月足らずですが、長く勤めたいと思える職場です。子どもより先に出て遅く帰ることになり心配ですが、子どもも頑張ってくれています。この2年間で嘘のように今はとても楽しく、充実しています。子どもとても可愛く思えるし、なにしろ自分で働いてお給料をもらうのがこんなに嬉しいことだとは思いませんでした。何があっても何をしても食べていけると自信を持っている人は人を引き付ける力がありますよね。そんな人になるのが夢です。まだまだいろいろあると思いますが、頑張りま

家計簿内訳

(1994年6月分)

【収入】

給料（手取り）	80,000円
養育費	150,000円
計	230,000円

【支出】

家賃	96,000円
食費	43,000円
水道・光熱費	13,000円
電話代	6,000円
教育費（学童保育費含む）	30,000円
雑費（教養娯楽衣服費含む）	10,000円
生命保険	12,000円
学資保険	20,000円
計	230,000円

各地の会合紹介

その1

福岡の会合

■円さんを囲んで

7月2日(土)に福岡市女性センター・アミカスにて、「円より子講演会」が「夫婦50年時代の処方箋ー離婚を選んだ女性たちの声からー」と題して行われました。

福岡のハンドのメンバーも、ほとんどの人が円さんに初めてお会いできるというので、わくわくしながら講演会に出席しました。

講演の内容は、離婚件数が過去最高となったことなど最近の離婚事情や、ライフサイクルの変化にともなう、子育ての後の夫と妻の向き合い方について。さらに、家族の機能の変化等、これからの家族、夫婦のあり方について大変有益なお話でした。

講演会の後、円さんはアミカスの相談員の方々と懇親会を終えて、ハンドの福岡の会合に1時間出席して下さいました。円さんは、この後、福岡地盤の日本新党の議員

と会食をされ、最終便で東京へ戻るといふ超過密スケジュールの中、時間を割いて来て下さいました。

メンバーの自己紹介をメモを取りながら真剣に聞いて頂き、その後、子どもとの向き合い方等、お話をしました。短時間で話足りないのが残念でしたが、とても有意義な会合となりました。

会合の後には、皆で久しぶりに子どもめきで、カラオケへと繰り出し、日頃の疲れを発散しました。

■メンバーは16名

福岡のメンバーは現在16名、30歳位から46歳位までの人が揃っています。子ども有りが13名、子ども無しが1名、再婚した人が1名、裁判中の人が1名。そのうち親と同居が4名です。

2か月に1回の会合を昨年の3月から始め、いろいろなことをやってきました。お喋りはもちろん、全員仕事を持っていて異業種交流会と同じ。自分の持っている知識を皆に分ける勉強会をしました。

まず、生命保険会社に勤めている

人が、保険や個人年金の説明。次に経理に強い人が、税金の計算の仕方や源泉徴収票の見方の説明。そして、看護婦をしている人が、「女性のからだ」と病気のということ勉強をしました。勉強会はなかなか好評です。

その他、野外で子どもと楽しめるバーベキューをしたり、公園の芝生の上でお弁当を食べたり、今年の8月は初めての1泊旅行へ行きました。子ども達も比較的年齢が近いので、すぐ仲良くなりました。

会報は毎月出していて、これはメンバーが持ち回りで原稿を書いて、それに会合のお知らせ等を私が付け加えて発送しています。自分や家族の紹介、仕事、近況等載せています。

一人の人が毎月会報を書くのは、仕事、家事に追われている私たちには大変なことで、持ち回りにすると、一人の人に負担が掛からず、自分も参加しているんだという気持ちも生まれ、長続きすると思います。会合も同様で、メンバーが持ち回りで開くことになりました。

福岡では、メンバーの連絡網を作っています。定例の会合などは

会報で知らせるのですが、緊急で集まりたい時や、連絡をしたい時に使っています。これはとても便利ですよ。

会合の場所は、以前は女性センターを利用していましたが、不都合なこともあり、今はメンバーの自宅を使っています。参加費を500円、部屋代を1000円とめています。

メンバーにとって、この会はなくてはならないものとなり、お互いが心の支えとなっています。これからも会合の中身を充実し、いつまでもこの会を続けていきたいと思っています。この会を作った円さんに感謝しています。

(報告)



▲福岡の会合
円さんを囲んで

ハンド・イン・ハンドは、みなさんがつくる雑誌です。

みなさんの日常考えていることや、生活の匂いが伝わってくるような、そんなハンド・イン・ハンドでありたいと思います。お便りをどんどんお寄せください。

■皆で力を合せればと:

(?歳・兵庫)

神戸のお世話係の方のことですが、電話番号が変わっていつながらりません。さんは係を辞められたのでしょうか。

私は現在別居中で実家にいます。

独立した時、もしお世話係の方がいなければさして頂きたいと思っています。神戸は福祉でも割と恵まれていると思いますが、皆で力を合せればと。よろしくお願いします。

※さん、事務所までご連絡を

■大黒柱ですから頑張ります

(?歳・栃木)

県営住宅が当たり入居できました。家賃も3分の1になりホッとしています。養育費が遅れる度ドキドキしていた分、今はとりあえず生活はできるという安心感ができ、良かったと思っています。でも、養育費は遅れたら家裁へ足を運んでも、キチンともらうつもりです。

次は、もう少し将来性のある仕事を探そうと考えています。こんな時代だからいろいろ大変だけれどあきらめず探します。だって私は大黒柱ですからね！頑張ります。

■一読をおすすめします

(39歳・福島)

先日書店で「パツイチの子供たち」という本を見つけてました。

内容は離婚した家庭の子ども達の本音がぎゅーし語られています。この本を読んで本当に考えさせられてしまいました。ハンドの会員の皆様にも一読をおすすめします。

飛鳥新社から定価10000円で出ています。私自身も6歳の時に両親が離婚し母に育ててもらいました。悲しい思い出はたくさんありますね。

■女社長の卵のパワーに敬服

(?歳・大阪)

女性からも積極的に身近な市政や地域作りに参加していくべきだと考え、いろいろな講座やセミナーに参加するようになりました。

先日大阪府主催の「女性の為の企業家セミナー」にも参加。大変な熱気で、女社長の卵の方々の

パワーに敬服。「いつかは私も」と誓いを新たにした次第です。

■心が静かになってきました

(45歳・静岡)

24年間の結婚生活にけじめをつけ離婚しました。夫が出ていき、次男と2人暮らしになりました。

条件は全部の借金の肩代わりをすること、学費ローンの1部と家のローンを私が返済することにし、土地家屋名義を私にしました。借金総額480万円位です。

私は、パートの身で試用期間が4月中旬までなのに7月10日現在まだ本採用になりません。奨学金、児童育成手当等の申請はしたもの、養育費は事実上ゼロで、蓄えも底をつきそうです。築20年の家は故障続きで情けないと思うもの、もう夫に壊されることはないと思うと元気が湧いてくるのです。

いろいろなバタワンの離婚を会報を通じて5年以上読ませて頂き、たくさんのお知恵も頂き、感謝しています。いたずらに悩むこともなく、確実に準備し冷静に対処できたのではないかと思います。これから仕事が決まり、生活の目処が付いたら今度は私もお手伝いさせ

て頂きたいと思いますが、離れていて何が出来るか？ 少しでも心が静かになってきたこの頃です。※落ち着いたら静岡のお世話係をお願いできませんか？

お便り・お電話下さい

■川口近郊の方お便り下さい

(40歳・埼玉)

いつも会報を楽しみにしています。やっと別居でき、5月より調停に入ります。先のことはまったく分らず不安ですが、頑張ります。新しい土地なので、何か情報が欲しいです。

■同年代の方お便り下さい

(45歳・群馬)

私は今の主人とは5年前に再婚しました。主人には亡くなった前の奥さんとの子どもで、当時高1、中2の2人の娘がいました。私には子どもがいまませんでした。

子ども達の進学等、年齢的な難しい問題もありました。周りには主人の親類の目もありますし。

何とか上の子は短大を卒業し、今年から社会人に、下の子は短大に入学したところです。山あり谷あ

りの5年間だった様な気がします。同じ様な立場の方、特に私と同年代、又それ以上の方でも、いらっしやいましたらお便り下さい。

■お便り、お電話下さい

(27歳・大阪)

156号で「小さい子を持つ親のサークルを」の記事を読み、大阪でもぜひと思ひ筆を取りました。昨年の10月にハンドに入会し、今年の3月30日に調停離婚が成立。息子のヘルニアの手術も終わり、保育所の手続をして仕事を探そうと思っているところです。就職難で、11か月の子持ちには厳しい状況ですが、頑張ろうと思います。

3月末から日・祝の事務のアルバイトを始めましたが、同居の両親に面倒をかけ申し訳ない気持ち一杯です。

育児の情報交換や悩みや生き方を話したり、休日と一緒に過ごしたり、お仲間になって下さる方、ご連絡お待ちしております。

■泣きたい時はお電話下さい

(50歳・栃木)

私は、離婚して早17年、夢中で働いて、田舎に小さな我が家を持つことができた、庭はお花でいっぱい、部屋には縫いぐるみをいっぱい置いてワン子と住んでいます。

子どもも今は何も言っています。静かなものです。病気になるための保険と葬式代だけあればいいやのこの頃です。

お金もないし、子どもは心配だし、泣いてしまいたい時、お電話下さい。難しいことはわかりませんが、一緒に考えてあげることが出来ます。がんばれ、がんばれ！

■一人で頑張っている方へ

(29歳・大阪)

たくさんの方と交流を持ちたいと思いつながら、どうしていいかわからずお便りしました。励みがあったり、時には楽しく過ごしたりしたいなと思っています。私は子どもはいません。

同じ様に一人で頑張っている方、手紙で励ましあったりしませんか。子どもさんのいる方でも結構です。ご連絡お待ちしております。

お世話係から

■宮崎の方ぜひご連絡を

(7歳・宮崎)

お世話係になってから、ずいぶん月日が経ちましたが、なかなか県内の方からのご連絡がありません。私の力のなさだと申し訳なく思っています。

皆様と集まる機会を作り、おしゃべり会ができたと思っています。県外の方でも、ぜひご連絡を。

■再度お世話係立候補

(7歳・熊本)

以前熊本のお世話係に名前を出していましたが、いつの間にか消されていたので、呼び掛けるにも呼び掛けられません。

熊本のお世話係の さんに何度かお電話しましたが通じません。もし集まってもいいという方はお電話下さい。お待ちしております。

※ さんの電話番号が変わり、連絡がつかなくなったようです。申し訳ありません。 さんの電話番号も変わりました。お2人で連絡を取って下さいませんか。

■事務局便り

★ここ議員会館の7階まで歩いて階段利用。汗だくで事務所に着。1日に2、3回繰り返して酷暑を乗り切る毎日です。涼風と共にやって来る食欲の秋に打ち勝つことが出来るかしらと気にしつつ… (小木)

★今年の6月で母が還暦を迎え、8月18、19日に家族でお祝いを兼ねた温泉旅行に行きました。温泉にゆっくり入り、皆でビールを飲みながらおいしい夕食を。命の洗濯ができました。(向井)

★非婚の母(シングルマザー)のことを厚生省では、今だに「めかけ」という言葉で呼んでいるなんてご存知でしたか。

先日、シングルマザーの会の方々が議員会館に来られ、厚生省を呼んでの父親が認知しても児童扶養手当を打ち切らないでほしい等の要望書提出に立ち会いました。その席で、児童扶養手当法令通達の「めかけ」は消すとの約束を取りつけました。少しずつでも偏見と差別を助長するものを減らしていきたいものです。

(円)



第163回ニコニコ離婚講座

【9月】会場の都合でお休みです。
 【10月】10月29日(土)、午後1時～4時半、飯田橋セントラルプラザ12階(JR飯田橋駅下車隣)で。

内容は未定。月頭に事務所へお問い合わせ下さい。参加費2000円。参加希望の方は留守電が事務所向井までご連絡を。

☎03(5512)2738(事)
 ☎03(3261)1835(留)

★東京の会合

▼10月1日(土)午後5時～8時、飯田橋セントラルプラザ15階集會室で開催します。

▼10月29日(土)午後5時～8時、飯田橋セントラルプラザ15階集會室で開催します。

★東京バザーのお知らせ

11月13日(日)、日本社会事業大学にて岩手県沢内村「ふるさと交流会」に参加してハンドも出店しま

す。収益金は昨年同様、子どもの会の活動資金に。不用品などを左記までお送りください。詳細は東京のお世話係 まで。

付、ハンド・イン・ハンドの会宛

大阪のニコニコ離婚講座

【9月】9月8日(木)午前10時半～正午。大阪府立文化情報センター(住友中之島ビル5階)で。講師は段林和江弁護士です。

【10月】10月29日(土)午前10時～正午。9月と同じ場所。講師はカウンセラーの予定。

★大阪の例会

9月24日(土)午後1時半～4時半、竹川法律事務所。参加自由。☎06(393)1331 竹川法律事務所

★埼玉の会合

▼9月はお休みです。

▼10月16日(日)午後1時～宅で楽しいおしゃべり会。都合のつく方いらして下さい。

▼10月27日(木)午後7時～宅でハンド159号の発送を。

★福岡の会合

9月23日(金)午後1時～宅で。福祉資金と就学資金貸付制度の説明。

《お世話係》

★仙台
 ★福島
 ★東京
 ★埼玉
 ★群馬
 ★愛知
 ★滋賀
 ★大阪
 ★神戸
 ★岡山
 ★広島
 ★広島
 ★福岡
 ★福岡
 ★熊本
 ★大分
 ★宮崎
 ★鹿児島

☆離婚一〇番日時

離婚110番の曜日と時間、および電話番号は左記の通りです。時間や番号等をお間違えにならないようお願いいたします。

〔電話番号〕

☎03(3261)1835
 ☎03(3261)1836

〔日時〕

▼第1、第3土曜日の午後2時～5時
 ▼第2、第4土曜日の午後5時～8時

★購読料について

現在つぎの3通りの方法をとらせていただいています。

①年間3600円(送料共)

②2年間まとめて前払いして下さる方には、2年分、7200円のところを6000円に。

③出世払いもしくは免除

どうしても苦しい方は、いつでも遠慮なく申し出てください。それぞれ出費が多く大変ですが、期限切れの通知の入った時に、お振りこみ下さい。

(振込先) 各地の郵便局にて

00140161120542
 ハンド・イン・ハンドの会